

受付番号	7	受付月日	11月16日
		午前・午後	8時50分

東郷町議会議長 井俣 憲治 殿

東郷町議会議員

議席番号16番 氏名 星野 靖江 ㊟

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質問事項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 地方自治体の今後の課題と方向性について	<p>本町は、財政基盤整備として枠配当方式を採用し、人件費など特別配当枠や実施計画採択事業などを除き、各部長級職員にその一部の権限委譲をしていますが、今後の課題は各課内の調整と職員の業務量の適正化対策と思っています。</p> <p>そこで、各担当課窓口の具体的な取組みや住民満足度の観点からお尋ねします。</p> <p>(1) 職員の適正化と業務量の把握方法や人事異動の基本的な考え方は。</p> <p>(2) 地方分権の推進により、職員の業務は増加傾向にある。そこで、職員はどこに無駄があるか、どこを改善すれば良いかなど、創意工夫し、取り組んでいると認識しているが、住民サービスへの期待は膨らむ傾向にある。職員の増員は難しいが工夫は。</p> <p>(3) 職員に現場の判断力が問われる現在、職員の意識改革対策として、中間管理職と直接サービス部門には、それぞれの職責にあった能力が考えられるが、住民サービス向上に向けた具体的な取り組みは。</p> <p>(4) 今後の職員体制は、管理職員の定年退職により、女性職員も含めた積極的な人事配置が求められる。</p> <p>また、業務量の増大や住民ニーズへの対応として、職員の必要な能力の向上、そして、職員の健康管理とモチベーションが懸念されるが、職責と責任に見合った処遇の考えは。</p>	町 長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>2 地域共生社会と誰もが支え合えるまちづくりについて</p>	<p>今年度は、東郷町障がい者福祉計画の中間期となりました。</p> <p>誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりを願い、公的な支援体制の充実が求められています。</p> <p>そこで、身体・知的・精神障がい者団体及びその支援者等の活動・就労支援の観点から質問します。</p> <p>(1) 障がいのある人の就労支援の実績と目標は。</p> <p>(2) 就労移行支援の町内の現況は。</p> <p>(3) 障がいのある子どもから大人までの支援を考えた場合、生まれ育った町で安心して暮らし続けるには、福祉事業をさらに推進するため、障がい者を安定的に支援できる社会福祉法人の必要性と具体的な取り組みは。</p> <p>(4) 10月28日、ワイワイ交流会が開催され、町民による人と人を繋ぐ「サポートハートマーク」が紹介された。今後、このマークを広めるための支援は。</p>	<p>町長 担当部長</p>
<p>3 豊かな自然の恵みを活かした都市デザインについて</p>	<p>都市近郊の東郷町は、高齢社会の到来と共に先代から受け継がれた郷土や自然、さらには風情も少しずつ変化してまいりました。</p> <p>そこで、郷土風景の創出の観点から、自然の恵みを社会資本に活かした事業の在り方についてお尋ねします。</p> <p>(1) 緑化対策のひとつである季節感あふれる道路整備と街路樹の観点から、外出したいまち、歩きたい道づくりの取り組みは。</p> <p>(2) 農地の保全とまちづくりの観点から、農地の適切な保全対策と今後の課題は。</p> <p>(3) 都市デザインの観点から、自然を楽しむことができるような公園や広場は町民の憩いの場・交流の場である。</p> <p>そこで、町の花“あやめ”を活かした空間を創出する事業の考えは。</p>	<p>町長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。